

# Atom Livintech IR NEWS

## 第72期中間報告書

令和7年7月1日 ▶ 令和7年12月31日

### 目次

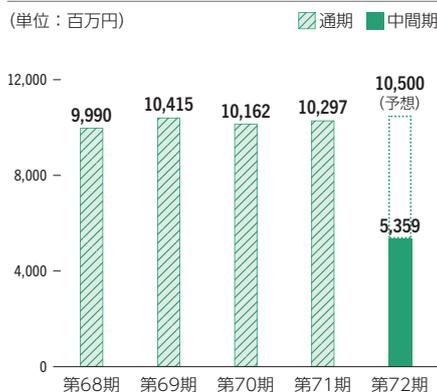
- 財務ハイライト／主要経営指標 ..... P1
- INTERVIEW ..... P2・P3
- TOPICS 「イベント開催」 「メディア掲載のお知らせ」 ..... P4
- 株主還元／株式の概要／会社情報 ..... P5
- シリーズ企画／株主メモ ..... P6

## ▶ 財務ハイライト

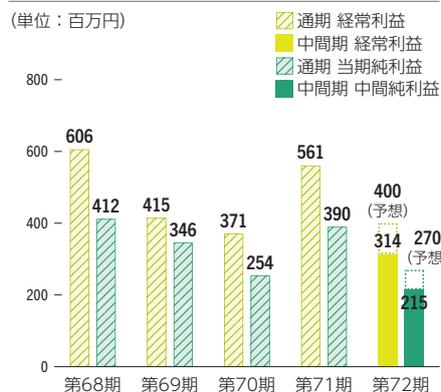
### 第72期中間期の POINT

第72期中間期の業績につきましては、売上高は53億59百万円(前年同期比1.6%増)、経常利益は3億14百万円(前年同期比6.4%減)、中間純利益は2億15百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

### 売上高



### 経常利益／当期(中間)純利益



### 総資産／純資産



## ▶ 主要経営指標

	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期(中間期)
売上高営業利益率 (%)	5.8	3.6	3.3	5.0	5.2
総資本営業利益率(ROA) (%)	4.6	2.9	2.6	4.2	2.4
自己資本利益率(ROE) (%)	4.3	3.5	2.5	3.8	2.0
流動比率 (%)	296.4	300.1	284.9	654.4	656.5
固定比率 (%)	49.7	49.2	50.9	51.0	49.5
自己資本比率 (%)	76.1	78.0	77.0	89.9	89.7
1株当たり純資産額 (円)	2,459.2	2,518.1	2,544.1	2,614.3	2,656.5
1株当たり当期(中間)純利益 (円)	103.3	86.9	63.8	98.0	53.9
期末(中間期末)株価 (円)	1,450	1,161	1,366	1,466	1,323
株価純資産倍率(PBR) (倍)	0.59	0.46	0.54	0.56	0.50

## 企画開発型企業として市場ニーズに対応した幅広い商品開発を積極的に進め、高収益化につながる前向きな先行投資を実施。第12次中期経営計画は順調に進捗しています。

### 第72期中間期の取り組みと業績について

秋の内覧会では、複雑な機能商品の特性をあまねく需要家に伝える営業活動を展開しました。

### ▶ 第72期中間期の経営環境について

第72期中間期の住宅市場におきましては、住宅ローン減税の拡充や省エネ住宅への補助金制度など、政府による各種住宅取得支援政策が下支えしたものの、建築資材の原材料コストや製造・輸送に係るエネルギーコストの上昇、労務単価の上昇などを要因とした建設コストの高止まりが住宅需要を抑制する状況が続いたことから、新設住宅着工戸数は低調でした。また、建設業界の慢性的な人手不足に加えて、地価の上昇や住宅ローン金利上昇の局面を迎えるなど、住宅業界を取り巻く環境は依然として先行き不透明感が拭えず、本格的な市場の回復には未だ至らない水準で推移いたしました。

### ▶ 第72期中間期の戦略別取り組みと業績について

市場戦略につきましては、複雑化する機能商品の特性をあまねく需要家に伝える営業活動を展開いたしました。令和7年11月13日～15日に開催した「2025秋の内覧会in大阪」(会場：アトム住まいの金物ギャラリー大阪)では、住宅用内装金物を建具や家具に取り付けた状態で多数展示し、来場者からは住空間に柔軟性をもたらす新製品がとりわけ好評でした。室内の光や風をコントロールできる「可動ルーバー」は、1枚の羽根を操作すると他の羽根も連動して開閉できるもので、アルミ製ながら意匠性に優れ、木製に比べて長期間使用しても開閉動作に問題が生じにくいことがアピールポイントです。ダンパー付き折りたたみ棚受け「legarie(レガリエ)」は、使用しない時に折りたためる仕様で空間を有効利用できるほか、棚板をゆっくり閉じることで安全性にも配慮しています。当中間期は積極的なセールスプロモーション活動に取り組んで市場ニーズに対応した商品の拡充と市場への定着に努め、新商品の周知と販路開拓に取り組みました。なお、西日本市場での販売強化と運送コストや自然災害に対するリスク分散など、BCP(事業継続計



画)対策も兼ねている「広島営業所・C/Dセンター」については、管理運用する商品を徐々に増やし、顧客満足・サービスの維持向上を図っています。

情報システム戦略につきましては、令和7年7月に受発注・在庫管理等のシステムを将来の事業変革にも柔軟に対応できるようにクラウド型へ移行し、社内の情報共有の簡素化を図っております。また、熟練職人が不足している建築現場を支援するため、ホームページ内コンテンツ「atom動画ギャラリー」にて商品施工動画を配信し、正しい施工方法や手順、調整方法などが確認できるコンテンツを充実させています。このほか「アトムCSタワー」において一部商品の動画付き説明を視聴できるショールームビューなど、販売支援ツールも拡充させています。

こうした取り組みを推進した結果、第72期中間期の業績は、売上高53億59百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益2億78百万円(前年同期比11.3%減)、経常利益3億14百万円(前年同期比6.4%減)、中間純利益2億15百万円(前年同期比5.6%減)で増収減益となりました。当中間期は減益となりましたが、この要因としては市場ニーズに対応した幅広い商品開発を積極的に進め、マーケティング・人材投資、業務効率および経営効率の向上を図るため情報システムを強化するなど、戦略的判断に基づき将来の成長に向けて投資を実施したためであり、一時的なものと考えております。

なお、計画比では営業利益以下、各利益段階の数字を大幅に上回ったため、令和8年1月26日付けで第72期中間期業績の上方修正を開示いたしました。

## 中長期観点からの取り組み

**裾野の広い新商品を市場に投入。  
利益面も回復傾向にあり、  
現中計は順調に進捗しております。**

## ▶ 第12次中期経営計画の進捗について

令和6年7月からスタートした第12次ATOM中期経営計画(第71期～第73期)では、「伝統を活かし、変革に挑む」という新たな企業スピリットを設定し、「持続的成長に向けた新たな付加価値の創出」を基本方針として、「ものづくり」の原点に立ち返り、商品の裾野拡大と高収益型企业への回帰を目指しております。これを実現するため、①独自の機能を内包するソフトクローズ関連商品の発展性と全方位営業ネットワークの優位性を活かした周辺の事業領域と販路の拡大・拡充への取り組み、②環境の変化に即応できる柔軟な技術開発力の強化、③積極的に行動できる発想豊かな人材の育成、④株主様との中長期的な信頼関係の維持の4点を行動目標に掲げています。

現中計の中間期においては、裾野の広い商品開発を推進し、住宅から施設建築分野まで幅広く活用可能な新製品を市場へ投入し、収益面も全体的に回復傾向にあります。またベトナムで開催される展示会への出展を継続してきた効果から現地での認知度は向上しており、東南アジア市場での新たなフレームワークの構築も進捗しております。以上のことから、現中計は順調に進捗していると考えております。

## 事業環境の予測

**住宅関連市場に関わるテーマを  
引き続き深掘りし、将来を見据えた  
投資の活性化を推進いたします。**

## ▶ 下期の見通しについて

今後の見通しにつきましては、厳しい社会・経済環境の下、予断を許さない不透明な状況が続くものと思われま



下期における新設住宅着工戸数の動向については、消費性向および所得環境の改善がさらに拡大・浸透しなければ、本格的な市場の回復には至らないと思われま

## 株主の皆様へのメッセージ

**適切な投資判断のため  
財務状況を正確、タイムリーに開示。  
株主利益の向上に努めます。**

## ▶ 株主の皆様とのコミュニケーションについて

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のためには、株主の皆様との積極的な対話を通して得られた貴重なご意見やご要望を会社の経営に反映させることがきわめて重要であると認識しています。そのため、ホームページの「株主・投資家情報サイト」において当社の財務状況・経営方針・事業内容などを正確かつタイムリーに開示することで、当社の経営戦略や事業環境に対するご理解を深めていただき、適切な投資判断に資する活動に取り組んでいます。今後も透明性の高い情報開示を通じて皆様から信頼を獲得し、持続的な企業価値の向上につなげたいと考えております。

## ▶ 配当政策について

当社では株主利益の向上を図る観点から、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率(ROE)の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題として位置付け、積極的な配当の実現を基本方針に掲げてまいりました。また、第12次中期経営計画におきましては、「年間配当金は利益水準のいかに関わらず、最低でも1株当たり30円の配当を維持する」とともに「5年を節目とする記念配当を実施する」ことを目標としております。こうした観点から第72期中間期における配当金につきましては、日頃よりの株主の皆様からのご支援にお応えするため、普通配当の1株当たり15円から1円50銭増額した16円50銭とさせていただきます。期末配当につきましては、業績の推移に応じ柔軟に検討してまいりたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社の経営方針ならびに経営施策に対するご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 **高橋 快一郎**

## 1 「2025 秋の内覧会 in 大阪」を開催

令和7年11月13日(木)～15日(土)、アトム住まいの金物ギャラリー大阪にて「2025秋の内覧会 in 大阪」を開催。住まいをより快適にする住宅用内装金物を、建具や家具に取り付けた状態で幅広く展示しました。実際に商品に触れて動きや操作感が確認できるのは、リアル展示会ならではのことで、多くの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

なお、「2025秋の内覧会 in 大阪」の様子は、アトムニュース222号にも紹介しておりますので、併せてご覧ください。

アトムニュース  
222号は  
こちらから



## 2 メディア掲載のお知らせ

### IR 「ジャパニーズインベスター127号」に出稿

潜在投資家に向けた当社の認知度向上および今後の期待感醸成を目的に、宝印刷株式会社が年4回発行する投資家向け専門誌「ジャパニーズインベスター」に出稿しました。

記事内では第12次中期経営計画の初年度における大幅増益の要因を分かりやすく説明するとともに、増配についても紹介。高収益型企業への回帰に向けて着実に進んでいることを説明しました。

同誌は読者会員のほか、全国の証券会社や証券取引所などで無料配布されています。



### PR 「目的と課題で選ぶ 住宅建材・設備ガイドブック 2025」に出稿

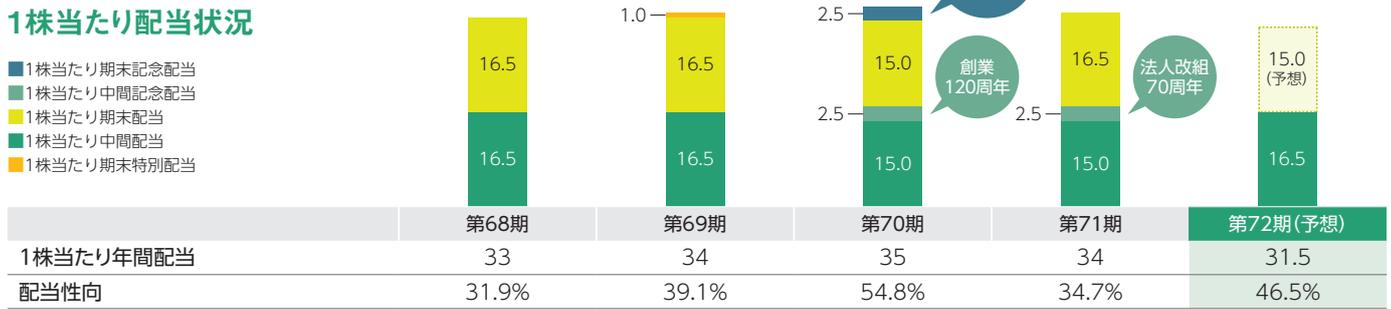


創樹社が発行する「目的と課題で選ぶ 住宅建材・設備ガイドブック 2025」に、当社商品の「可動ルーバー」と「折りたたみ棚受け(legarie)」を広告として掲載しました。同書籍は建材・設備の商社・流通業者および住宅関連の展示会で無料配布されるほか、全国の書店、ECサイトなどで販売されるなど住宅業界に広く認知されています。

## ▶ 株主還元 (単位:円)

### ≡ 1株当たり配当状況

- 1株当たり期末記念配当
- 1株当たり中間記念配当
- 1株当たり期末配当
- 1株当たり中間配当
- 1株当たり期末特別配当



## ▶ 株式の概要

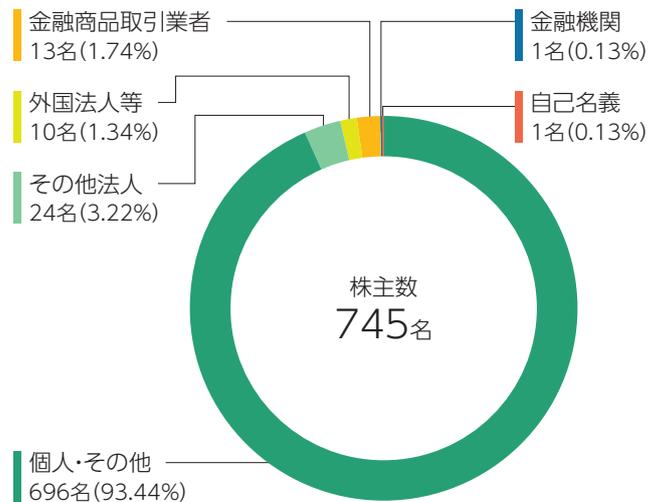
### ≡ 株式状況 (令和7年12月31日現在)

発行可能株式総数 15,420,000株  
 発行済株式の総数 4,105,000株  
 株主数 745名

#### 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
高橋不動産株式会社	885,440	21.56
高橋 快一郎	790,000	19.24
アトムリビントック従業員持株会	228,060	5.55
磯川産業株式会社	220,600	5.37
重田 光時 (常任代理人 株式会社スノーボールキャピタル)	169,400	4.12
櫻井金属工業株式会社	162,200	3.95
高橋 壽子	157,000	3.82
アトムリビントック株式会社	115,243	2.80
大塚 李代	83,800	2.04
岡崎 衛	81,400	1.98

### ≡ 株主の所有者別分布状況 (令和7年12月31日現在)



## ▶ 会社情報

### ≡ 会社概要 (令和7年12月31日現在)

商号 アトムリビントック株式会社  
 創業 1903年(明治36年)  
 設立 1954年(昭和29年)10月  
 事業内容 家具用金物・建具用金物・陳列用金物等、  
 住まいの金物全般の企画・開発・販売  
 主要取引銀行 株式会社みずほ銀行  
 株式会社三菱UFJ銀行  
 株式会社三井住友銀行  
 従業員数 118名(嘱託4名・パート4名含まず)

### ≡ 役員 (令和7年12月31日現在)

代表取締役社長	高橋 快一郎	常勤監査役	金子 豊
常務取締役	山口 俊	監査役	小瀧 繁幸
取締役	池井 正彦	社外監査役	高島 良樹
取締役	関内 和貴	社外監査役	雨宮 弘和
社外取締役	山下 剛		

### ≡ 事業所一覧 (令和7年12月31日現在)

**本社**  
 〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号 TEL 03-3876-0600

**アトムC/Dセンター(商品本部)**  
 〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎4丁目15番19号 TEL 048-922-5551

**札幌営業所**  
 〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西1丁目1番地  
 マルイト札幌ビル2階 TEL 011-281-3777

**前橋営業所**  
 〒371-0805 群馬県前橋市南町3丁目72番7号 TEL 027-223-2651

**広島営業所・C/Dセンター**  
 〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8番地6 TEL 082-291-4235

**アトムCSタワー**  
 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目31番5号  
 アーバンスタイル事業部 TEL 03-3437-3673  
 ショップ&ショールーム亜吐夢金物館 TEL 03-3437-3440

**アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所**  
 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18番地5 TEL 06-6821-7281

### ≡ 海外拠点 (令和7年12月31日現在)

子会社: ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED  
 (ベトナム社会主義共和国)

子会社: 上海阿童木建材商貿有限公司  
 (中華人民共和国)

# アトム CSタワー 最前線

SPECIAL ISSUE



ギャラリーショップ

# KANAGU

～職人技のある暮らしを、スローショッピングで。～

使ってみるとなんだかうれしい、こごちいい。  
大切な誰かに贈りたくなる、ちょっといいモノ。  
デザイン、素材感、仕上げの隅々まで  
職人のこだわりが詰まった逸品をセレクトしました。  
毎日の暮らしに新しい風を運んでくれるような  
職人がつむぐ「モノ語り」を読みながらあなたのお気に入り、  
ゆっくり、じっくり見つけてください。



KANAGU

## KANAGUとは

職人と職人の出会いから生まれたKANAGU。富山高岡の金属装飾に携わる職人たちとの出会いをきっかけとし、手仕事のぬくもりが伝わる作品をもっと紹介したいと思い、KANAGUは生まれました。美意識と技を持つ職人たちから受け取った熱き想いを「モノ語り」としてお伝えしていきます。

詳しくはこちらを  
ご覧ください



<https://www.atomlt.com/cstower/category/shop>

## 鉄瓶屋が作る スキレット

スキレットは「鑄鉄製」のため、日頃のお手入れを怠ると錆びやすくなってしまいます。そのため、使用前はタワシで洗い、空焚きしてから油をなじませ、鉄の匂いを緩和するために野菜くずを炒めるという準備が必要です。表面に油がなじむまで、使用前・使用後にシーズニング(油ならし)が必要なのです。

このようにお手入れに手間がかかるのが一般的ですが「鉄瓶屋が作るスキレット」は水洗い後に空焚きして油を入れ、野菜くずを炒める作業を新品の時に一度行えば完了。使用後も食器用洗剤で洗えます。

鉄瓶の技である釜焼で酸化被膜と漆の着色によりサビも出にくいので、保管にも気を使いません。

いつもの食卓にちょっとしたアクセントとして、是非ご利用ください。



お手入れ  
簡単

### 「鉄瓶屋が作るスキレット16cm 蓋付き」

- 素 材：鉄
- サイズ：約φ163×H87全幅260mm  
※サイズに関しては若干の個体差があります。
- 重 さ：本体980g 蓋580g
- 仕上げ：黒漆、焼き付け仕上げ
- 作り手：佐秋鑄造所

商品情報は  
こちらから



## ● 佐秋鑄造所

鉄器の文化が根付く東北地方。なかでも岩手県奥州市(旧水沢市)では、誰もが日常的に使える鉄器を作ってきました。佐秋鑄造所の佐藤さんは「伝統技法を礎に、現代の生活スタイルに合わせたモダンなものや、使っていて楽しくなるような鉄器を作っていきたい」と、今までにない鉄器づくりに情熱を燃やしています。

## ≡ 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主 確定日	毎年6月30日 中間配当金を支払うときは毎年12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料)
(郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所	東京証券取引所	スタンダード市場
公告方法	電子公告(当社のホームページに掲載いたします。) <a href="https://www.atomlt.com/ir/financial/koukoku/">https://www.atomlt.com/ir/financial/koukoku/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)	

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Atom  
Livintech

〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号  
TEL 03(3876)0600(代表)  
ホームページ <https://www.atomlt.com/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。